



項目

●活動情報

—1月のコメント—

●菜の花イベントに

行ってきました

●新！水質パトロール隊

●安城市で取材しました

—安城市婦人会協議会—

●碧南市で取材しました

—西端中学校—

●地域の名木を紹介

—榎前のクロガネモチ—



1月27日に油ヶ淵を撮影してきました。この日は、かなり水量が少なく、湖面には鳥たくさん羽を休めていました。「底が浅いと魚が取りやすいから、鳥が集まってくるね。干潟と同じだね。」と犬塚補佐。季節ごと趣に変化があるのは、いいなと思いました(多賀)



活動情報

●1月のコメント

・水量少なく、水面に枯れた植物が多く浮いている。(下池・東岸(ボート対岸))

・引き潮、水が澄み見た目もきれい。芥も少ない、鴨が所々島になって群れている。(下池西岸・下流)

・水かさが少ない。生き物の姿が見えない。(神田川・法響橋)

・水深8cm。綺麗な流れ、カルガモ7羽が徒歩で散歩(神田川・中根橋)

・本流不法投棄物流れている。家庭ごみと思われる。(長田川・長田橋上流左岸・流入都下)

・水量少ない。水深5センチ水生生物カワニナのみ、寒いです。(長田川・準道田川・上流準)

・揚水場所にフナが多くたくさん集まっている。100から150匹くらい。(平場川準(長配川))



菜の花イベントに行ってきました

2月2日、フッチーはたる会さん主催の「油ヶ淵の環境美化と春のイベント」におじゃましてきました。

場所は、油ヶ淵北岸。前日までに刈り取った葎や雑草を、近くの西端中学校生徒さんの応援で運び出します。

菜の花畑の隣のテントでは、メンバーのみなさんたちが豚汁と漬け物や防災食料のインスタントご飯を用意。肌を刺すような寒さの中で頑張ってくれた中学生のみなさん約160名は、鮮やかな黄色に色づいた菜の花と温かい気持ちがいっぱいに詰まった豚汁のおもてなしに、顔をほころばせていました。(川村)



新！水質パトロール隊

油ヶ淵周辺など生活排水対策重点地域の市町の子どもたちが夏休みなどを利用し身近な河川や水路の水質の調査や生き物の観察をする「水質パトロール隊」は、平成10年から12年間続いてきました。最近では毎年千人以上もの小中学生が参加する地域に根ざした活動となっています。この取組は、次代を担う子どもたちの環境への関心や豊かな情操をはぐむ上でも大いに役立つにちがいありません。

そこで、COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)が開催される今年には、「地域子育て創生事業」の一つとして、生活排水対策重点地域だけでなく幅広く県内全域を対象に、学校、地域社会、家庭等多様なグループの参加を募って実施したいと考えています。調査結果のレポートを審査し、優秀グループは知事から表彰します。

(犬塚)



各グループに大人の指導者1人以上が必要です。



興味深い地点と
なっています。
相違が見られる
タリング結果に
で、毎回、モニ
水温やCOD等
響されるのか、
の流入状況に影



また、66と67の地点は、市街地であることから、放置自転車のゴミがあったり、白濁した水が流れていたり、残念な状況を見ることになってしまいました。
メンバーの皆さんは、エコの実践活動として、手作りの「マイ箸」や「廃油石けん」を配布したり、地域の生活排水対策の学習会で講師を務められたり、清掃活動を行うなど多方面で活躍されています。環境改善を実行に移していってほしい。パワーは流石と感じました。
(多賀)



1月8日に安城市の安城市婦人会協議会さんを取材しました。

安城市婦人会協議会さんは、長田川の上流、64・65・66・67の合計4地点を2グループに分かれて調査されています。特に、64地点は郷西川という長田川の支川、65地点は長田川の本川という位置にあり、この2地点間の距離は、ほんの数メートルと隣接しているにも関わらず、その上流の流入状況に影響されるのか、



また、66と67の地点は、市街地であることから、放置自転車のゴミがあったり、白濁した水が流れていたり、残念な状況を見ることになってしまいました。



2月2日に碧南市の西端中学校さん取材しました。

西端中学校さんは油ヶ淵の下池北側の19地点を調査されています。当日は西端中学校さんのキープクリーン清掃行事とフッシーほたる会さんの菜の花イベントと併せて水質調査を実施していただきました。調査は文化部の2年生の4人の生徒さんが実施。当日は前日の天候が良くなかったこともあり、水は濁り気味。そのため透視度は13cmでしたが、CODは8mg/Lとなかなかの数値。ゴミも見られませんでした。

若いだけあって寒い中でも、とても元気に調査をしてくれている姿が印象的でした。
(嶋田)



地域の名木を紹介
県指定天然記念物
「榎前のクロガネモチ」

クロガネモチ(モチノキ科)は、雌雄異株の樹木で、この木は雄株です。はだの白い一本立の幹が地上6mのところまで大きく二つに分かれ、その上方は更に多くの枝に分岐しています。枝張りは東西23m、南北22mに及び、壮大な樹冠を形成しています。

榎前の村が約400年程前にこの地に移転してきた際、各戸の鬼門にモチの木を植えたこと伝えられ、その名残の木と思われれます。この樹の隣には、雌木があり、たくさんの実をつけます。

クロガネモチの実



油ヶ淵流域市民モニター
ふちもに情報局 vol. 30
平成22年2月発行

発行
愛知県環境部水地盤環境課
調整・生活排水グループ
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1-2
電話
052-954-6219(ダイヤルイン)
Mail:mizu@pref.aichi.lg.jp